

島高だより 令和4年2月号 (通巻第191号)

長崎県立島原高等学校編集:研修広報部

校長室から

『努力の正解とは』

校長 岩橋 順弘

先日、北京オリンピックが終了した。アスリートたちの活躍に夢中になった人も多かったのではないかと思う。今大会で、日本は冬季オリンピックとしては最多の18個のメダルを獲得した。メダルの数がすべてではないが、大会を目標に4年間、重ねてきた努力の結晶である。大会に出場した選手の皆さんに素直に称賛を送りたい。また、転倒や失格で悔しい結果となった選手もいたが、素晴らしい演技やレースには感動をもらった。一方で、ドーピングや規定違反、失格などがあり、混乱が多かった大会でもあった。それぞれに状況や判断基準によって判定されたものだと思うが、釈然としない思いもある。これまでオリンピックを目標に懸命に取り組んできた選手たちのためにも、見直すべきところは見直し、改善していって欲しいと切に願う。

その中でオリンピック3連覇を目指した羽生結弦選手は不運もあり、4位という結果に終わった。彼は4回転アクセルジャンプに挑戦したが、成功することができなかった。前回オリンピックで連覇を成し遂げた後、前人未到のジャンプに挑戦することをモチベーションに4年間、誰にも負けない努力を続けてきたに違いない。私たちが想像できないほどの練習を積み重ねてきたのだと思う。オリンピックを終えた羽生選手は『人生って報われることがすべてじゃないんだなと。ただ、報われなかった今は、報われなかった今で、幸せだなと思う。不条理なことはたくさんあるが、少しでも前を向いて歩いていけるように頑張ります』と語っている。誰よりも努力を重ねてきた彼だからこそ言える一言だし、人々の心に響くのだと思う。その羽生選手は、以前あるインタビューで次のようにも語っている。『努力は嘘をつく。でも無駄にはならない。努力が嘘をつかないんだったら、やっぱり練習量を一番している人が優勝できるでしょう。努力の正解を見つけることが大切です』。努力の正解とは何だろうか。私なりに「努力の正解」について考えていることはあるが、ぜひ皆さんにも考えて欲しい。それが、きっとこれから勉強や部活動を頑張っていくうえでのヒントになるに違いない。

2月も終わり、3学期も残すところわずかになった。3学期は、次の学年の0学期であるとよく言われる。学年末考査が終了し、自宅学習の期間もある。多くの人は、気が緩みがちになる時期でもある。こんな時期だからこそ、次の学年に向けてしっかり準備をし、人より早くスタートを切って欲しい。次の学年に向けて早く準備をして十分な助走をとることは、他の人より高く遠くに飛ぶために必要なことでもある。

3月の主な行事予定

- 1日(火) 第74回卒業証書授与式
- 5日(土) スタディサポート(1・2年)
- 7日(月) 会場設営
- 8日(火) 大学入試中期試験
- 8日(火)~10日(木)
 - 後期高校入試・生徒自宅学習期間■
- 12日(土) 国公立後期試験

- 15日(火) 1・2年生教科書販売 理教科課題研究大祭書
 - 理数科課題研究本発表会
- 16日(水) 卒業生座談会
- 高校入試合格発表 ■ 17日(木)合格者登校日
 - 在校生半日授**業**
 - 24日(木) 大掃除・終業式・離退任式



国公立大学前期試験

進路指導部主任 荒木 健輔

2月25日(金)・26日(土)に国公立大学前期試験が実施されました。全国では233,997人が出願し、本校からも138人が出願、受験に臨みました。前期試験終了後は3月12日の後期試験に向け、卒業式をはさみながら、もうひと踏ん張りとなります。これまで授業だけでなく、放課後や休日、自学スペースや職員室や学習室で懸命に取り組む姿を見てきました。これまでの努力が実り、合格を勝ち取ることを、関わってきたすべての人が願っています。

2年生は受験まであと1年となりました。目標を決め、努力し、合格を勝ち取り進路を決定して進んでいく。大きな変化を迎える1年となります。学力検討会では一人一人の現状や目標について共有をしました。それぞれ目標も思いも現状も異なります。だからこそ、島高の仲間とともに成長し、進路を選ぶ力を付けてください。

1年生は、下級生が入ってきます。今の2、3年生の姿を超える。これを期待しています。

各種表彰

卒業式を翌日に控えた2/28(月)に各種表彰が行われました。

青楓表彰(本校独自の表彰) 3年6組 松本 悠里 長崎県教育委員会優良卒業児童生徒表彰 3年6組 奥山 愛香

長崎県スポーツ表彰

(個人) 3 年 5 組 生出 琴華(剣道部)

(団体) 剣道部男子 1年1組 吉岡 杏珠

長崎県教育委員会 学校文化活動等表彰 長崎県高等学校体育連盟表彰

◇卒業生顕彰

3年6組 馬場 隆旗(陸上競技部)

◇一般表彰 団体 剣道部男子

個人 3年5組 生出 琴華(剣道部)

長崎県高等学校文化連盟表彰 ◇卒業生顕彰 3年3組 前田 梨緒(合唱部)

3年間無欠席生徒表彰 83名



オンライン授業

本校では、まん延防止等重点措置のため、2月7日(月)から10日(木)まで分散登校が行われました。クラスの約半数の生徒は自宅でオンライン授業を受けました。そこで、今回初の試みのオンライン授業を実施してみての先生方の取組についてご紹介します。

①授業形態: 板書を投影 36% 教材や説明資料を共有 64%

②共有する教材: PowerPoint 50% Excel や Word 17% PDF 17%

OneNote 8% その他 8%

③生徒の授業の受け方 投影された映像を見る(説明を聞く) 44% プリントに記入する 39% オンライン上のグループ活動 11% Word や Excel に入力 6%

④先生方が工夫した点

- ・リモートの生徒も話し合いができるように、ブレークアウトルームという機能を活用した。また、 英語を発音するときは音声をオンにして、授業に参加している雰囲気を味わえるように心がけた。
- ・タブレットに表示した PDF への書き込みを、teams では画面共有で表示し、教室内のプロジェクターには投影して表示した。
- ・データ量の大きいもの(動画や写真、記事など)は、スライドで案内をして、 あらかじめ Teams 内に保存していたリンクやフォルダから閲覧させた。